

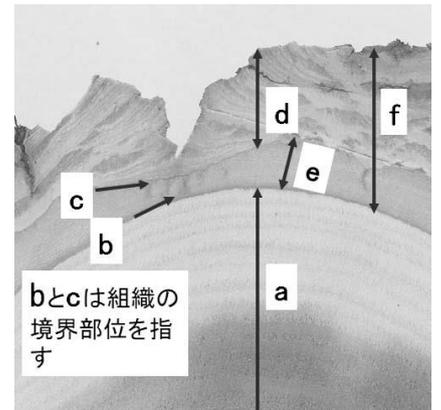
民間生薬検定試験〔上級〕問題 (令和元年12月1日実施)

受験番号_____氏名_____

問1 次の記述はオウバクの特徴を示したものである。()内に適語を一つだけ記入しなさい。ただし、ア～オで示したものは用語欄から選び、カ～キで示したものは図に示した記号から選びなさい。

オウバクは(ミカン)科に属す(キハダ)を原植物とする生薬である。本植物は雌雄(ア 異株)の高木で、葉は(イ 羽状)複葉。薬用部位は(ウ 周皮)を除いた樹皮で、収穫時期は(エ 夏の土用)の頃である。成分としてアルカロイドの(ベルベリン)を含み主に(オ 苦味健胃薬)として使われるが、外用薬や染料としても使われることもある。

なお樹皮とは図の(カ f)の部分のことであり、薬用部位は(キ e)の部分である。



図

【用語欄】

異花、同株、異株
掌状、三出、羽状
内皮、表皮、周皮
春の彼岸、梅雨時、夏の土用、初霜
鎮咳薬、苦味健胃薬、滋養強壯薬

解説：キハダは頻用される重要な薬用植物なので、その原植物や部位の特徴をよく理解しておきたい。

問2 表に示した植物の薬用部位、生薬名、適用について最適なものを用語欄から一つ選び記入しなさい。

植物名	薬用部位	生薬名	適用
ニンニク	鱗茎	大蒜	疲労回復 ※1
トロロアオイ	根	黄蜀葵	咳や喉の痛み
メハジキ	地上部	益母草	女性薬
イヌサフラン	種子	コルヒクム子	痛風
サラシナショウマ	根茎	升麻	清熱や痔疾患
イカリソウ	地上部	淫羊藿	強精

【用語欄】

薬用部位：鱗茎、地上部、根茎、根、種子、塊茎、果実

生薬名：淫羊藿、大蒜、黄蜀葵、コルヒクム子、升麻、益母草

適用：強精、痛風、咳や喉の痛み、清熱や痔疾患、疲労回復、女性薬

解説：薬草利用における基本的問題。※1は強請でも正解とした

問3 下記の文中の空欄に入れるべき適語を用語欄から一つ選び記入しなさい。用語欄は分野別に〔 〕で分けしてある。

- 1) 大棗は(ナツメ)の(果実)から調製される生薬で、(精神安定 ※1)作用などが認められ(葛根湯)などの漢方薬に配合される。
- 2) 茵陳蒿は(カワラヨモギ)の(頭花)から調製される生薬で、(黄疸)への薬能が認められ、(茵陳蒿湯)などの漢方薬に配合される。
- 3) オミナエシ科の(カノコソウ)は生薬名も植物名と同じであるが、生薬は(吉草根)とも呼ばれ、(鎮静 ※2)作用がある。特異臭があり、精油や(kanokoside)などを含む。
- 4) 細辛は(ウマノスズクサ)科に属する(ウスバサイシン)の根・根茎から調製される生薬で悪寒や感冒に対する薬能がある。精油を含み、(小青竜湯)などの漢方薬に配合される。薬局方では原植物の(地上部)を含まないことを規定している。

【用語欄】

〔ウスバサイシン、ウマノスズクサ、カノコソウ、カワラヨモギ、吉草根、沙参、ナツメ、メギ〕； 〔果実、根、頭花、地上部〕； 〔黄疸、精神安定、苦味健胃、鎮静〕； 〔茵陳蒿湯、葛根湯、芍薬甘草湯、小青竜湯、八味地黄丸〕； [capillarisin、kanokoside、methyleugenol]

解説：※1と※2は、精神安定、鎮静のいずれでも正解とした。

問4

次の実習に関する内容で、括弧()内に最も当てはまるものを用語欄の中から一つだけ選び記入しなさい。

- ・ナシの果実では顕微鏡で(石細胞)を観察した。
- ・(オウバク)の粉末に水を加えてかき混ぜると、粘液のためヌルヌルした感じがする。これは(オウレン)との簡単な区別法となる。
- ・バラ科に属し、(種子)を薬用部位とする代表的な生薬に、キョウニンや(トウニン)がある。

【用語欄】

石細胞、 デンプン粒、 ポリフェノール、 シュウ酸カルシウムの結晶、
精油、 オウレン、 カイカ、 コブシ、 ヒメガマ、 ゴシュユ、
果実、 種子、 花粉、 根茎、 トウニン、 シンイ、 オウバク、
根、 サポニン

解説：実習は植物や生薬の現物を用いて行う貴重な機会です。その体験を生かして扱った薬草の特徴や成分の理解を深めよう。